

RA協議会第7回年次大会 H-2

大学キャンパス全体のイノベーション・コモンズ化とURAの役割

2021年9月15日 13:50-15:20

京都大学 桂キャンパスの イノベーション・コモンズ化の取り組み

京都大学学術研究支援室 大西将徳、田上款

京都大学

KYOTO UNIVERSITY



京都大学桂キャンパス

京都大学には3つのキャンパス

- ・ 吉田キャンパス：メインキャンパス。10学部、多くの研究科がひしめく。
- ・ 宇治キャンパス：自然科学・エネルギー系の4研究所。
- ・ 桂キャンパス：工学研究科が展開。



吉田キャンパス

桂キャンパス

- ・ サイエンスとテクノロジーの融合、地域に開かれたキャンパス
“テクノサイエンスヒル”をコンセプトとして2003年に開学。
- ・ 工学研究科が展開。
- ・ キャンパス南に旧JSTイノベーションプラザやベンチャー施設、
研究開発型企业も隣接。



桂キャンパス

産官学連携や地域住民などとの
“共創拠点”を目指して開学。

しかし現実、。。



桂キャンパス

イノベーション・コモンズ化へのきっかけ



大嶋前工学研究科長

桂キャンパスをもっと楽しくすること考えなさい！

わくわくテーマ会議を開催

- ・桂まつり、散策マップ
- ・研究シーズ展示
- ・新図書館にURAコーナー
- ・キャンパスに最新研究試験実装
- ・温泉・カフェ、科学館、
鉄道・新交通システム・・・。



桂地区URAチーム

しかし、企画を実現させる場所もなく、、

京都大学桂図書館竣工（2019.9）



研究支援機能も持ち合わせた桂図書館の機能をもっと充実させてほしい！



桂図書館、工学事務

わくわく図書館会議を開催

- ・図書館、工学事務、URAが協力して企画会議
- ・URAは研究者に寄り添っているからこそ、
研究者に寄り添った企画
- ・建物も生きるし、研究にも生きる



桂地区URAチーム

研究シーズをタネとして、様々なステークホルダーが集まり、
共創するキャンパスを目指す。

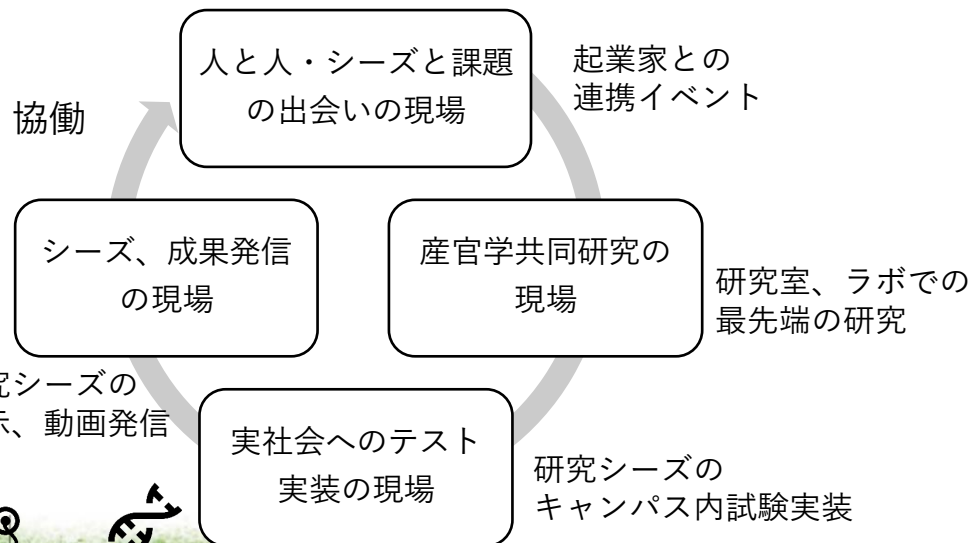
桂図書館を起点としたテクノサイエンスヒル桂構想の実現

京大・工学の研究シーズを桂キャンパス全体を使って可視化・発信し、
京大発研究シーズの事業化の“現場”：テクノサイエンスヒル桂を実現する

研究の可視化・発信：

- ①展示：リアル、触れる、たくさん、常に最新
②動画：世界へ発信、いつでもアクセス
③試験実装：実社会を想定した事業化イメージ、協働
④イベント：シーズの詳細、人と人の交流

事業化（産官学共同）の“現場”：



試験実装例：

- ・桂図書館：ノイズキャンセラー、耐震構造、耐火材、ICタグ管理、情報セキュリティ
- ・EMセンター：キャンパス全体の電力最適化
- ・プロムナード：無人非破壊検査装置、次世代モビリティ
- ・キャンパス全体：大気モニタリング(PM2.5、放射性物質等)、水質管理・廃液処理、次世代太陽光パネル、草刈り、AI事務

- ・キャンパス全体をテストフィールドにプロトタイプを実証
- ・キャンパスを歩くだけでシーズに出会える



① 展示「隣はなにをする人ぞ」

実際の研究サンプルを展示することで、研究シーズとのコラボレーションの直感を誘発



- ・ 約8名の研究者
- ・ 四半期ごとに更新
- ・ 研究サンプル展示
 - 研究紹介
 - 必要なモノ・ヒト・コトの発信
 - 研究者へのアプローチ方法
 - 研究者の著書、関連書籍もあわせて紹介
- ・ 訪れた人がコメントを残し、交流する場
- ・ 企画展として、雑誌の表紙展や学生の関連受賞ポスター展示等も検討



② 動画「桂産直便」～桂産のタネ届けます。

Web を介して研究シーズを発信。研究シーズの面白い部分を、研究者の生の声で伝える。



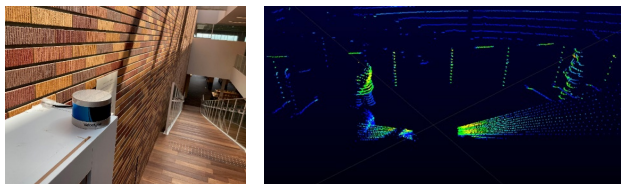
<https://seeds.t.kyoto-u.ac.jp>



- ・ 短編インタビュー動画。
- ・ URAがインタビュー。
- ・ WEBページでは研究シーズ情報も発信。

③ 試験実装

キャンパス全体をテストフィールドとして、研究を試験実装。
研究者にとっては研究を進める場・機会、当該研究者以外には、
実際の研究に触れるチャンスを提供。



LIDARを用いた桂図書館内での密検知実証
(左：LIDAR、右：検知データ)

< 意義、メリット >

実証研究を進める研究者

- ・ 試験実証の現場が得られる
- ・ 研究の可視化により研究内容の発信

他の研究者、企業研究者等

- ・ “生きた” 研究シーズに出会える

大学・部局

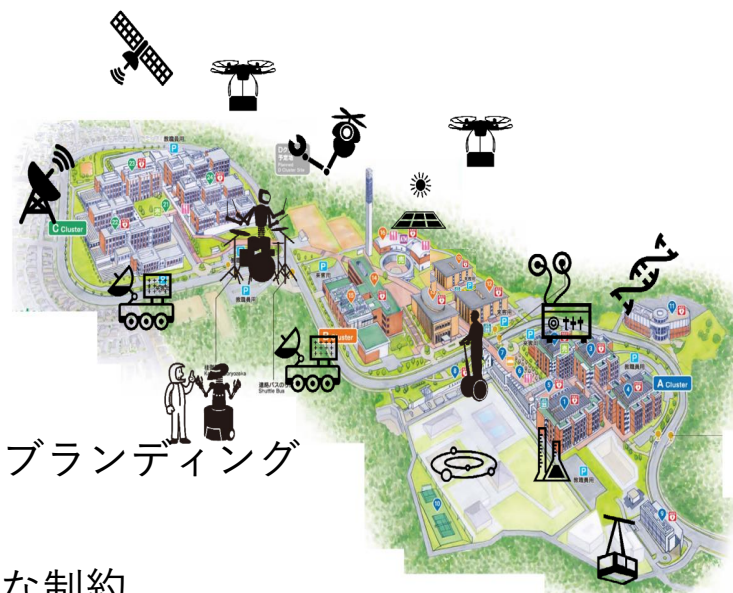
- ・ 実証ニーズの呼び込み、産学連携推進
- ・ 研究発信、実証現場提供によるキャンパスのブランディング

< 課題 >

- ・ 桂キャンパスで実施可能な実証研究には様々な制約
- ・ ニーズ調査・基盤整備とともに、外部との連携も必要

< これまでの取り組み >

- ・ パイロットケースで実証研究の基盤構築。
→ ワンストップ窓口、承認の会議体を整理
- ・ 今年度実証研究推進ファンドを用意し、
取り組みを加速。
→ 今年度 10 件以上の実証研究が進む予定



④ イベント

産学連携、異分野研究者のマッチングは、一筋縄では進まない。
展示、動画、実証研究等を活かしたマッチングイベント等を企画。

・産（地元民間企業等）。官（京都市産業観光局、京都知恵産業創造の森等）、
学（学内関係組織）との連携を模索しながらイベントの内容、形を検討。

・コロナ禍での交流イベントの企画は難航。

・直近では 9/30 に産学交流イベントを予定。

京都大学
テクノサイエンスビル
桂の実 VOL.1
インダストリアルデイ2021
産官学マッチング交流会

テーマ 医工連携

2021/ 9/30 木
14:00~17:30

申込締切: 2021年9月27日

▼お申込みは下記イベントページよりお願いします
<https://www.rac.t.kyoto-u.ac.jp/ja/news/events/ind-day2021katsura1st>

定員: <会場>
本会場/京都大学桂図書館2F: 30名
サテライト会場/京都経済センター3F KOIN: 20名
<オンライン>
500名

参加料: 無料

■主催 京都大学工学研究科、桂図書館、学術研究支援室
■共催 (一社)京都知恵産業創造の森、京都大学産官学連携本部、
京大オリジナル株式会社、(公財)京大高度技術研究所、
(有)京大企業基盤整備機構株式会社、京都府、京都市
■後援 (公財)京都産業21、株式会社TLD京都

お問合せ先: 京都大学学術研究支援室(KURA)桂地区担当
E-mail: katsura@kura.kyoto-u.ac.jp

京都大学桂図書館 京大産官学連携本部 京都大学

13:30 受付開始
14:00 オープニング
14:10 発表
<登壇者>
●京都大学 工学研究科
平井 義和 助教
●京都大学 工学研究科
中尾 章人 助教
●ミツフジ株式会社
三寺 歩 代表取締役社長
●株式会社T-ICU
中西 智之 代表取締役
15:45 オープンディスカッション
16:30 クロージング
16:40 展示&デモの部
(17:30迄)

まとめ

- ・京都大学桂キャンパスでは、研究シーズをタネとして、様々なステークホルダーが集まり、共創するキャンパスを目指した取り組みを始めている。
- ・研究支援機能を持った桂図書館の開館をきっかけに、研究科、図書館、URAが協力する体制が構築され、ハードとソフトの連携によるキャンパスの共創拠点化が進んでいる。
- ・今後、学外のステークホルダーとの連携をより強め、キャンパスのイノベーション・コモンズ化を推し進めていく。